

ルリチュウレンジ

春から秋にかけてツツジ類の葉を集団で食べるイモムシ（幼虫）。最大長約20mm。体は緑色、背中に多数の黒い斑紋がある。頭や脚は黒い。

【生態】

繭内で越冬する。幼虫は春から秋の間に3回発生。十分成長した幼虫は落葉中や土の浅いところに潜って繭を作る。成虫は早春、初夏、初秋の頃に出現する。雌は葉縁に卵を並べて産む。

【被害と防除】

市街地でききに多発する。食害により樹勢が衰えることがある。

幼虫集団をみつけたら取り除いて駆除する。農薬による駆除が必要と判断される場合、ツツジのハバチ類用の農薬としてピリダフェンチオン乳剤などがある。農薬は取扱説明書に従って使用し、散布にあたっては通行人や近くの住民らに十分配慮すること。

北海道立林業試験場・緑化樹センター

ルリチュウレンジ mifusi/rurichu/
kaisetv.htm

「文章」原秀穂，北海道立林業試験場，2001/8/24.